

らにはる報広

発行所
西原村役所
電話 (095) 2401
印刷所
中部印刷 K K
電話 (077) 4464

村の世帯・人口

1968年3月末日現在

総世帯数 1,855戸

男 4,921人

女 4,956人

計 9,877人



当月の人口移動

出生 20 死亡 3

転入 20 転出 14

婚姻 20 離婚 2

一、財政公表	1
1. まえがき	1
2. 六七年度一般会計決算状況	1
3. 六八年度上半期の財政状況	5
4. 六七年度水道事業特別会計決算状況	6
5. 六八年度水道事業特別会計予算執行状況	7
6. その他財政に関する事項	8
二、公害調査報告	9
1. はじめに	9
2. ゼネラル石油精製堺製油所の現況	10
3. 東亜燃料和歌山製油所の現況	10
4. 大気汚染、水質汚濁、騒音および悪臭防止	10
三、外地引き揚げ者に交付金支給	11
四、白い羽根募金運動はじまる	11
五、村の話題	11
1. 村慰霊塔の改築	11
2. 勲記、勲章の伝達式	11
3. ポリビア水害に救援金おくる	11
4. 「青少年科学の日」論文一位 玉城美江子さん	11
5. 新旧教員の紹介	13
6. 西原郵便局新局舎落成	13
六、暮しのメモ	13

主なもくじ

一、財政公表

1. まえがき

2. 六七年度一般会計決算状況

3. 六八年度上半期の財政状況

4. 六七年度水道事業特別会計決算状況

5. 六八年度水道事業特別会計予算執行状況

6. その他財政に関する事項

二、公害調査報告

1. はじめに

2. ゼネラル石油精製堺製油所の現況

3. 東亜燃料和歌山製油所の現況

4. 大気汚染、水質汚濁、騒音および悪臭防止

三、外地引き揚げ者に交付金支給

四、白い羽根募金運動はじまる

五、村の話題

1. 村慰霊塔の改築

2. 勲記、勲章の伝達式

3. ポリビア水害に救援金おくる

4. 「青少年科学の日」論文一位 玉城美江子さん

5. 新旧教員の紹介

6. 西原郵便局新局舎落成

六、暮しのメモ

告示第七号

西原村財政状況の作成および公表に関する条例に基
づき一九六八年度上半期の財政状況を公表します。

一九六八年四月十二日

西原村長 新 川 崔 吉

ま え が き

市町村長は、条例の定めるところにより毎年二回以上予算の執行状況、公債および一時借入金等の現在高その他財政に関する事項を作成し、これを住民に公表しなければならないという自治法第一七七条の規定により一九六八年度上半期（一九六七年七月一日から一九六七年十二月三十一日）までの予算の執行状況、一九六七年度一般会計才入、才出の決算状況、村有財産、村民の負担額、一九六七年度水道事業特別会計の決算状況、その他財政に関する事項等を公表したいとおもいます。従来財政公表として独自の公表を第五回までやりましたが一九六六年度の上半期分から広報「にしはら」が発刊されたのでこれに併記して公表して参りましたので、今後も同様広報に財政状況の公表をやっていくしたいと思います。申すまでもなく村の財政需要は、村民が能力に応じてその経費を負担しているため、村行財政の状況を公表し、皆様に検討をしていただき、ご意見などが寄せられたら幸いです。

一九六七年度一般会計決算状況について

一九六七年度の決算状況は、別紙に示すとおり、才入総額二二六、七三九、二四弗、才出総額二〇〇、九六九、八九弗となっており、前年度より、才入において九四、九四二、七六弗で才出八六、六七五、六八弗とふえております。それではその増額になった主な款について若干の説明をくわえたいとおもいます。

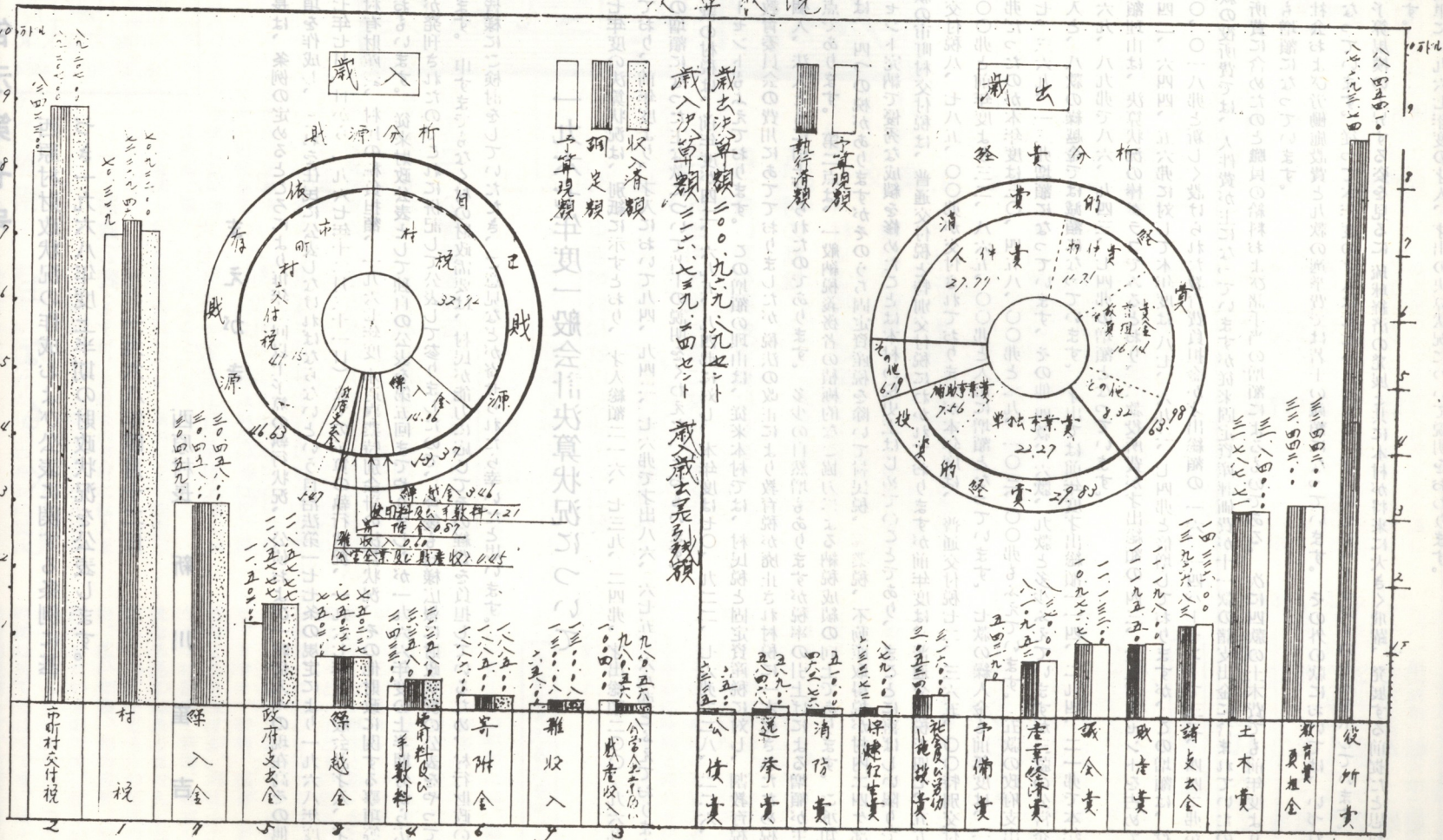
まづ、一款の村税は、前年度が四二、六九五、九四弗に対し、本年度は七〇、九二二、七六弗で二八、二二六、八二弗約六〇パーセントもふえております。この増額の理由は、従来本村では、村民税と固定資産税に対し、割教育税を賦課徴収して教育委員会の費用にあてておりましたが税法の改正により教育税が廃止され村税に一本化されたため税率が各税目毎に個人、法人ともに引上げられたのであります。多少の自然増もありますが税率の引上げによる増額が主なる理由の第一点であります。第二点は、一般納税義務者の積極的な協力による納税成績の向上であります。ご承知のように村税には、四つの税がありますがそのうち固定資産税を除いて村民税、事業税、不動産取得税が村内二十四ヶ部落が一〇〇パーセント完納で優秀な成績を修めたことは本村の税史上はじめてのことであり、まことに喜ばしい限りであります。二款の市町村交付税は、普通交付税と特別交付税にわかれておりますが前年度は、普通交付税で四七、五五七、〇〇弗特別交付税八、七八五、〇〇弗が交付されておりますが本年度は、普通交付税七二、三六五、〇〇特別交付税一六八四二、〇〇弗と前年度より三二、八六五、〇〇弗と大に増額となっております。七款の繰入金も前年度は、一、三五五、〇〇弗だったのが本年度は三〇、四五八、〇〇弗と二九、一〇三、〇〇弗もふえています。五款の政府支出金は前年度より七、三六九、一三弗増額になっております。その他四款、六款、九款と多少ふえています。三款の公営企業および財産収入と、八款の繰越金では減額になっております。才出では前年度才出総額一一四、二九四、二一弗で本年度が二〇〇、九六九、八九弗で八六、九四三、七四弗の増額となっております。

主な増額理由は、決算状況の棒グラフでみるとおり、一、款役所費が才出総額の四三、六三パーセントを占めている。前年度の四二、六四四、五六弗に対して本年度は八七、六九二、七四弗と倍増しておりますが、この増額は、役所敷地購入費三〇、〇一八弗と新しく設けられた教育費負担金才出総額の一六、一四四パーセントで三二、四四二弗が主である。二款の役所費では、人件費が主になっておりますが従来固定資産評価費が十一款の諸支出金に含まれていたのが本年度から役所費に含めたのと職員給料および諸手当の増額によるものである。次に四款の土木費でも前年度より六、一六七弗余も増額になっております。

五款の社会および労働施設費と九款の選挙費では若干の減額になっております。その他の款においては、いづれも多少の増額となっています。従って本年度の才入は七二パーセント、才出は七五パーセントの上昇を示しています。おもに毎年の予算規模の上昇する姿を見るに琉球経済の発展と共に本村が将来に大きく飛躍、発展する前提だと思料するのがあります。

以上簡単に一九六七年度の才入、才出の決算状況について説明をおわります。

1967年度一般会計 決算状況



1967年12月31日現在

1967年度一般会計（1967年12月31日現在）

村税負担額状況

(法人および村外を除く)

税目別に見る負担額 (1967年度)

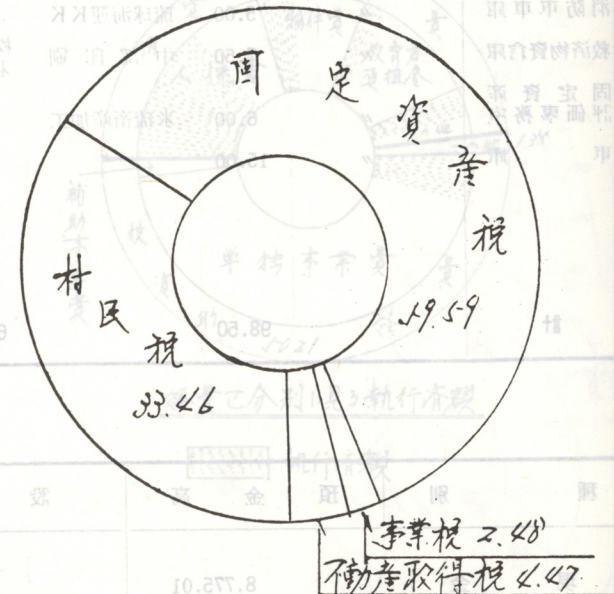
税目	金額	1人当り負担額	1世帯当り負担額
村民税	\$ 5,962.18	\$.61	\$ 3.23
固定資産税	10,618.54	1.08	5.75
事業税	440.88	.04	.23
不動産取得税	797.15	.08	.43
計	17,818.75	1.81	9.64

1967年8月31日現在

人口 6,823人

世帯数 1,847

村税総額に占める税目別割合



村 有 財 産

1967年12月31日現在

建 物

有 価 証 券

土 地

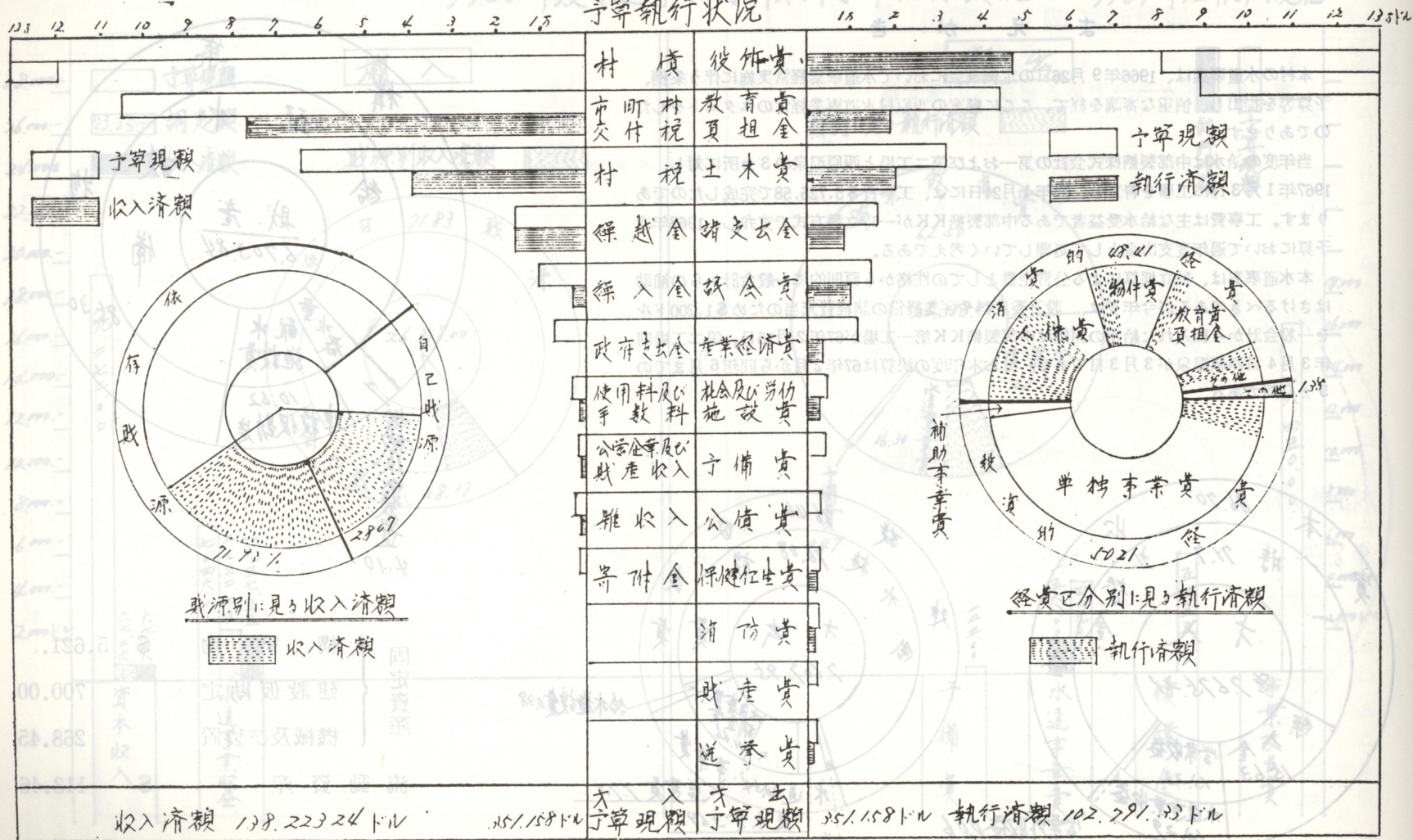
種 別	構 造	坪 数	種 別	株 数	1株金額	枚 数	金 額	種 別	地 積	所 在	地 名
庁 舎	木造瓦平屋建	40.00	琉 球 銀 行	375	1.00	3	375.00	西原小学校敷地	坪 6,093.20	字与那城～大多良原	我謝～長
宿直室および 台 所	木造トタン葺 平 屋 建	8.00	沖縄配電KK	10	1.00	1	10.00	坂田小学校敷地	3,727.00	字翁長～坂田升	
議 会 室	"	8.00	"	147	10.00	20	1,470.00	西原中学校敷地	5,132.00	" ～桃原	
機 材 倉 庫	"	9.00	中部製糖KK	5,000	1.00	5	5,000.00	旧 分 校 敷 地	578.00	" ～東京	
消 防 車 庫	"	5.00	琉球海運KK	445	1.00	13	445.00	旧 馬 場 敷 地	668.00	" ～桃原	
救済物資倉庫	"	7.50	中 部 印 刷	株 券 未受領			100.00	旧校長住宅敷地	151.00	" ～東京	
固 定 資 産 評 価 事 務 室	"	6.00	米琉南産加工	150	B円 500.00		75,000.00	旧 実 習 地	167.00	" ～桃原	
車 庫	"	15.00						旧 役 場 敷 地	1,332.00	" ～西原	
								旧石嶺分校敷地	354.00	那覇市首里六名	
								上 原、千 原、 村 有 地	197,854.00	字上原～上原、 宮里、大田原	字千原～千原、 道田原
								新庁舎敷地	1,782.00	字小橋川～東京原	字嘉手苺～機間 原、西原
計		98.50		6,127				内道路	341.00	桃原	
								計	217,833.20		

預 金

種 別	預 金 高	設 置 年 月 日	預 金 先	摘 要
現 金	8,775.01	自 1962年6月30日 至 1967年12月31日	西原村農業協同組合	役所建築資金積立金
現 金	952.79	自 1962年6月30日 至 1967年12月31日	"	退職給与積立金

1968年度一般会計
予算執行状況

(1967年12月31日現在)



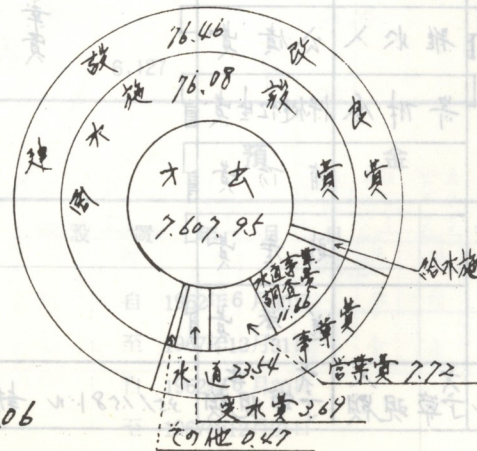
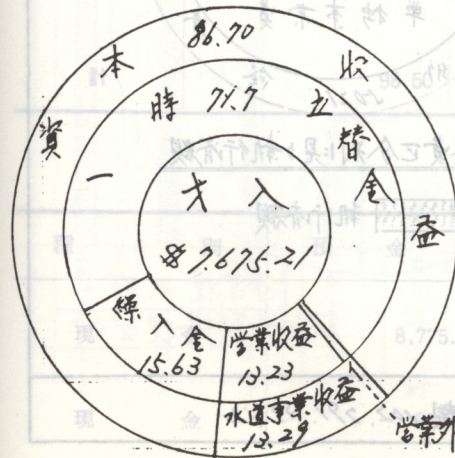
1967年度水道事業特別会計決算状況について

ま え が き

本村の水道事業は、1966年9月26日の定例議会において水道事業経営実施に伴う条例、予算等を提出し、慎重な審議を経て、ここに懸案の西原村水道事業経営のスタートをしたのであります。

当年度の給水は中部製糖株式会社の第一および第二工場と西原温泉の3カ所に対し、1967年1月3日に工事を着工し、同年1月24日には、工事費\$5,725.58で完成したのであります。工事費は主な給水受益者である中部製糖KKが一時立替方式で支弁し、1968年度予算において過年度支出金として処理していく考えである。

本水道事業は、独立採算による公営企業としての性格から原則的に一般会計からの補助はさけるべきであるが今年度は、設計委託料や事業経営の諸経費充当のため\$1,200ドルを一般会計から繰入れた給水の開始は中部製糖KK第一工場が67年2月15日、第二工場同年3月4日西原温泉が3月3日である。なお本年度の決算は67年2月から同年6月までの5カ月間である。



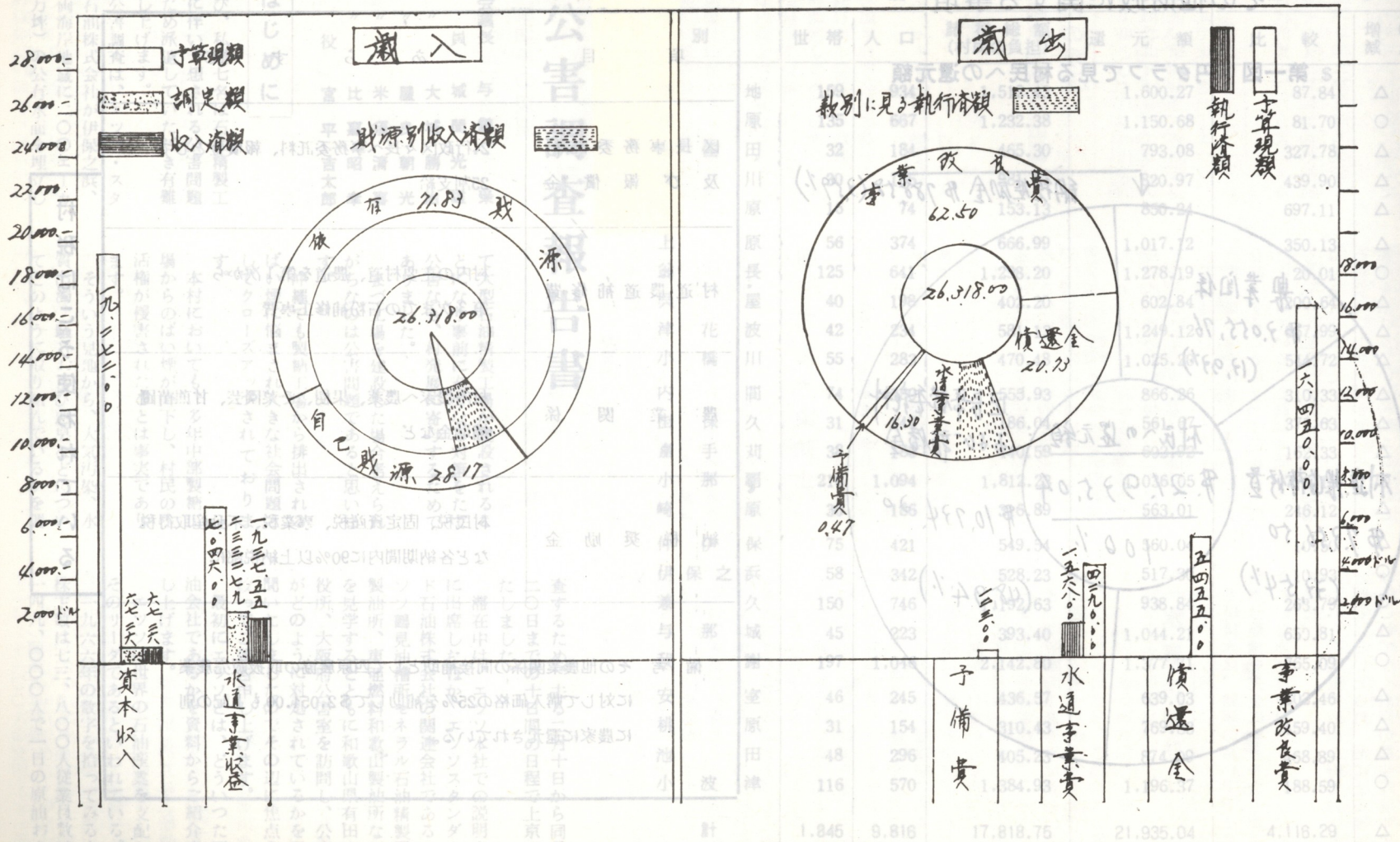
水道事業特別会計財産表



固定資産	構築物	\$ 5,621.10
	建設仮勘定	700.00
	機械及び装置	268.45
流動資産		\$ 113.46

1968年度水道事業特別会計予算執行状況

1967年12月31日現在



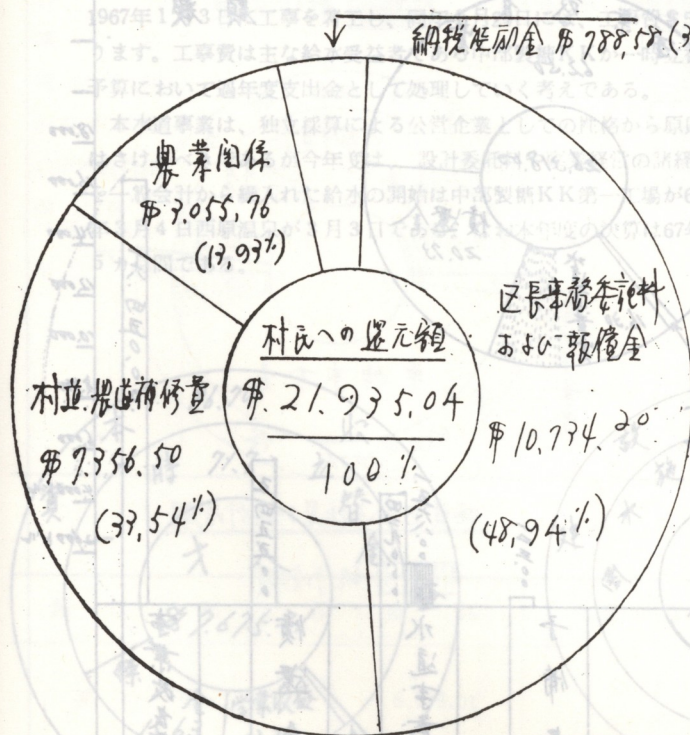
1967年度水道事業特別会計決算状況について

水道事業特別会計財産表

第一表 村民へ還元された事業

その他財政に関する事項

第一図 円グラフで見る村民への還元額



項 目	あ ら す じ
区長事務委託料 及 び 報 償 金	24行政区々長へ事務委託料、報償金として 25割支給
村道農道補修費	村内の主要村道、農道を第1次から 第3次までの石粉補修工事費
農 業 関 係	村内農家へ農薬、果樹、そ菜園芸、甘蔗出圃 補助金など
納 税 奨 励 金	村民税、固定資産税、事業税、不動産取得税 など各納期間内に90%以上納税部に
備 考 その他農業関係の間接補助として西原農協の取扱販売農業 に対して購入価格の25%を補助して\$2,054.00も上記の別 に農家に還元されている。	

村税はこう使われている

第二表 村民の税負担と村から部落への還元比較

字 別	行政別		1967年度決算	1967年度決算	備 考	
	世 帯	人 口	諸 税 総 額 (村民の負担)	還 元 額	比 較	増 減 ○ △
幸 地	159	934	\$ 1,512.43	\$ 1,600.27	\$ 87.84	△
棚 原	135	667	1,232.38	1,150.68	81.70	○
徳 佐	32	184	465.30	793.08	327.78	△
森 田	30	186	381.07	820.97	439.90	△
千 原	16	74	153.13	850.24	697.11	△
上 原	56	374	666.99	1,017.12	350.13	△
翁 長	125	641	1,298.20	1,278.19	20.01	○
呉 屋	40	198	402.20	602.84	200.64	△
津 波	42	234	581.13	1,249.12	667.99	△
小 川	55	283	470.48	1,025.20	544.72	△
内 間	74	380	555.93	866.26	310.33	△
掛 久	31	147	186.04	561.67	375.63	△
畠 手	38	185	440.59	602.92	162.33	△
小 那	216	1,094	1,812.23	1,036.05	776.18	○
崎 原	30	186	316.89	563.01	246.12	△
仲 伊	75	421	549.54	560.04	10.50	△
伊 之	58	342	528.23	517.30	10.93	○
保 久	150	746	1,192.63	938.84	263.79	○
兼 那	45	223	393.40	1,044.21	650.81	△
与 我	197	1,046	2,142.80	1,377.71	765.09	○
安 桃	46	245	436.57	639.03	202.46	△
池 室	31	154	310.43	769.83	459.40	△
小 田	48	296	405.23	874.09	468.89	△
波 津	116	570	1,384.93	1,196.37	188.59	○
計	1,845	9,816	17,818.75	21,935.04	4,116.29	△

公害調査報告書

村会議長 与 健 栄
 助 役 宮 比 米 屋 大 城 与
 平 嘉 須 良 城 間 光 雄

はじめに

このたび、私達七名は石油精製工場の誘致に伴い予想される公害問題の調査のため派遣していただき有難く感謝申し上げます。

今回の公害調査は、エッソ・スタンダード石油株式会社が伊保之浜、仲伊保の両海岸地域に二〇〇エーカー（約二五万坪）の公有水面を埋立し

て大型石油精製工場が建設されることになり事前に充分なる対策をたて公害なき、村発展に寄与するためありました。

まづ工場を建設した場合考えられがちなのは公害問題であると思えます。

沖繩でも製糖工場から排出されるばい煙に悩まされ大きな社会問題としてクロースアップされておりま

す。本村においても、多年中部製糖工場からのばい煙が降下し、村民の生活権が侵害されたことは事実であります。

そういう見地から、大気汚染、水質汚濁、騒音および悪臭などについてどのように取り組んでいるかを調

査するため、去る二月十日から同月二〇日までの十日間の日程で上京いたしました。

潜在中は、エッソ本社での説明会に出席したほか、エッソスタンダード石油株式会社の関連会社であるエッソ鶴見油槽所セネラル石油精製所、東亜燃料和歌山製油所などを見学するとともに和歌山県有田市役所、大阪府公害室を訪問し、公害がどのように対処されているかを見聞いたしましたのでその辺に焦点を絞ってご報告申し上げます。

最初にエッソとは、どういった石油会社であるかを資料からご紹介申し上げます。

エッソは世界の石油産業を支配しそのリーダーであるといわれている。一九六六年の数字を拾ってみると株主数は七三、八〇〇人従業員数は一四九、〇〇〇人で一日の原油およ

び天然ガスの生産量は四、一万バレル同じく一日の石油の販売量は四三九万バレルとなっている。また純資産は約一三九億ドルで第一位である。

しかも世界の十九カ国において原油採掘の権利をもち、二九カ国で製油所を操業し、一三五カ国において販売活動をおこなっている。そのして全世界における原油生産量は十四パーセントをしめ、精製は十六パーセント、販売は十八パーセントをしめしている。

日本のエッソは関連会社に原油を供給し精製した石油を購入して販売するという。

二 セネラル石油精製 堺製油所の現況

ゼネラル石油精製製油所は大阪府堺市沖合の臨海造成地約二万坪を取得して、日産六万バレルの処理能力を有しているという。

当社はエッソの技術援助をうけて最新式の設備などはとし、創立以来最少の人員で最大の効率をモットーとして従業員数も一九五名をもって日夜操業を続けている。

丁度居住地区より八〇メートル離れ、同社は工場設計の段階で公害対策も考慮されて公害はないとのこと。

現在では、ゼネラル石油およびエッソ・スタンダード石油の両社が株主となっている。

三 東亜燃料和歌山製油所の現況

石油精製工場として日本の代表的な東亜燃料和歌山製油所は、エッソの資本、技術、原油および製品販売の提携を結んで東亜燃料・エッソ、モービルの三社が株主となっている。

当社は近代的集中管理方式による新鋭装置をそなえ、日産原油処理能力十二万七千バレルを有するという。

将来十八万七千バレルにすること。工場敷地も約五〇万八千坪

を有し、となりに下津港を控え、神戸、大阪に近く立地条件がいい、あらゆる石油精製工場でプロパンガスの発祥地ともいわれている。

電力需要量も三〇万の人口を有する都市と匹敵するほどのことを聞き、工場の規模の巨大さに唯々目を見張るばかりであった。

東亜燃料は基本方針として県ならびに有田市あつての東亜燃料和歌山工場であることを主眼に公害防止に關してもこの方針に基づき先手を打って対策をたて実施するとの態度を堅持している。

居住地区と混在しながらも公害に対する苦情は全くない。また有田みかんとして有名で有田市におけるみかんは基幹産業で山いっぺい実りを見せている。

当局の説明によると年間十二億円（四六八万ドル）の利益をあげているとのこと。無論みかんに対する公害もないとの説明、なお当局者は工場誘致には積極的に取り組んでいることが痛感された。

工場誘致に伴っては企業名の暴露を信頼し、共存共栄に多大の貢献をしている。

四 大気汚染防止

石油産業に公害が多い理由として考えられるのは石油に含まれるイオウ分が主因となつて燃焼のさい亜硫酸ガスとなつて大気中に排出されるという。

本土における公害については、無過失の侵害に対する住民の福祉を保護する建前から積極的な対策を講じられ公害防止のための装置として煙突の増高、燃料の選別および製品の低イオウ化などの面から公害解決に積極的に進められ直接的な公害はほとんどないといつてもいい位現状では確認された。

亜硫酸ガスを防止するために煙突を高くすることによって防止は可能だとされている。これは亜硫酸ガスを大気中で拡散すれば人体への影響はほとんどないといわれているが一方煙突を高くすればかえって被害の範囲を広げるといふ苦情もあったという。

し、関係者は斯様なことはない」と語っていた。さらに亜硫酸ガスの汚染状態を測定するため製油所周辺の住民地域を常時測定して遺憾なきを期しているが、もし亜硫酸ガスの汚染度が高い場合は、直ちに工場側に通告して協力を求めるなどの方法が講じられている。

大阪府の堺臨海工業地帯は進出企業の業種および規模などの背性と立地条件などからその公害対策も他の地域とは異なり高度かつ慎重な配慮がなされてある。

既に発生の問題の事後処理的なものでなく、あくまでも予想される公害問題の未然防止の確保という政策的なもので府庁では工場の開業開始前における行政指導に万全を期している。

すなわち堺臨海工業地帯は、庁営で埋立して進出企業に分譲しているという。

かかる埋立地を進出企業に売買のさいは企業との間に土地売買契約を締結する時点で公害の防止に関する条項を入れて、企業が公害の防除に必要な措置講ずべきことを解除条件とするほか、公害発生時の解決責任を義務づけるなどの措置を講じられているとの説明をうけた。

また、過年来公害対策を府政の重要施策としてとりあげており、さらに一段と対策を強化するために公害監視センターを昭和四三年三月の業務開始をメドに目下建設中である。

石油産業は、戦前非常に汚れた工場だと聞かされていたが現代は設備の近代化などによりきれいなものであることが立証された。

とくに堺臨海工業地帯は新しい工場公園ともいべく形成を遂げている。

水質汚濁防止

工場排水は、効率の高いPPI式油水分離槽で完全に油分を取り除ききれいな水だけを排水するようにしている。

これらの装置で成果を得てほとんど問題はないとされ、油による海水は汚れてなく沿岸の衛生環境や美観は何等変化はない。

また海軍におよぼす影響もなく、かんづつ魚もつれるという。海中汚濁には絶えず調査に専念して汚水処理には高度な防除技術が導入されている。

騒音 防 止

工場騒音の人への影響については六五ホン以上では作業能率の低下をきたし、八五ホン以上では身体に障害があるといわれている。

しかしこれらの騒音は法で規制せられ、さらに騒音源を居住地区より

遠隔の位置に配置する等の公害防止および安全性の確保に配慮している。なお、実際は交通騒音などの公害が多いとのこと。

悪 臭 防 止

排油を一括槽内に集め蒸気により脱臭している。

以上のようにして石油産業は、公害問題に取り組み完璧を期していることをご報告申し上げます。

外地引き揚げ者に交付金支給

本村該当者は八〇〇名

さる第三次大戦前に外地に住んでいた引き揚げ者およびその遺族、引き揚げ前に死亡した者の遺族に対して、特別交付金が支給されることになり、村住民課では手続き事務をはじめています。

この特別交付金は、さる五七年の給付金支給に続くもので、外地に生活の本拠を一年以上もっている人が終戦時のやむを得ない理由により本邦に引き揚げたため、在外資産、生活利益を失った打撃に救済の趣旨で、日本政府から交付されるものです。

特別交付金の額は引き揚げ者の場合、終戦の日を基準に年令別に約四四〇ドルから五四ドルまで支給され

ます。終戦まで引続き八年以上外地で生活していた者にはそれぞれの交付額に七〇ドルが加算されます。

又遺族に支給される特別交付金の額は、死亡者の終戦の日の年令によって約三二〇ドルから四〇〇ドルまで支給されます。終戦まで引続き八年以上外地で生活していた死亡者の遺族にはそれぞれの交付額に一九ドルが加算されます。

本村における、交付の対象となる該当者は八〇〇名で、手続きについては村から直接本人あて、日時と必要書類など通知いたします。なお、詳しいことは村住民課係にご照会して下さい。

あなたの胸に「白い羽根」を

六九年度赤十字募金運動はじまる

私たちの街や村を明るく、豊かにしましょうと、ことし三月の第一の羽根募金運動にあいついで、赤十字募金運動が赤十字社の主催にまつて五月一日から同月三十一日まで一カ月間実施されます。

村民の皆様、毎年お世話になりまことに有難うございます。今年も赤十字運動の月一五月がやっております。赤十字社の事業は幸にして皆様の温い御支援のおかげ

で世界一の九〇〇の赤十字に互して国際条約で決められた救済、それは災害時の救援、健康の増進、疾病の予防、苦痛の軽減、その他社会のための奉仕的な仕事を順調に推進することができています。

これからも平和に生きる赤十字として、今年各地で胃検診車をもって巡回検診をする計画もされているようです。どうか村民の皆様、今年も街や村、職場などでも白い羽根と各

所に一人赤十字社員となって、みんなが明るく、幸せな、生活ができるように、今年も村民のご協力をお願いします。

慰 霊

慰霊塔の改築、「一口政援助で」今次沖繩戦で激戦地と知られた、西原村翁長にある西原村慰霊塔は、これまで地元民、地元海外同胞の献金によって建てられたが、このほど沖繩遺族連合会を通して日政援助二千ドルの工事費で総合土木「善太組」の請負で改修工事を着工した。塔名を「西原の塔」に改名し五月末頃竣工の予定。

叙 勳

戦没遺族に勳記、勳章を伝達、西原村と新川(佐村)村長は、三月十一日、このほど戦没者叙勳発表のあった十一名の遺族にたいして勳記勳章の伝達式を行なった。この日の叙勳は、いめり部隊と白梅部隊に参加した五名の遺族も含まれており、村ではこれまでに一六二名が叙勳に列した。

救 援

水害に被害を受けたボリボア国神羅第ニニア水害地の救援にたいして、内閣府より、扶助世帯を除いて全世帯が協力して四月十五日までにまとめた。この救援金は総額四九八、水害救援協議会事務局を通じて救援金として送られる。要する百十三

入 賞

青少年科学の日」に論文一位に 玉城美江子さん

去る三月十日、琉球電力公社主催在浦米軍、米軍技術協会、民政府、琉球政府および民間各社の協力による第七回青少年科学の日」の諸行事におよそ三〇〇名の発明王で一千

余の特許をもつトーマー・ハ・エヂソンの誕生日（一八四七年二月十一日）を記念して行なわれたもので、二日間にわたる行事に学生たちは各生産施設を見学した。

また、嘉手納エアメイズ・クラブと沖縄配電ホールの中食会に招かれた。その記念行事として論文および

作品の入賞者にたいして二月十三日配電ホールで屋田基助電力公社総裁から賞状と賞金をうけた西原村宇与那城八四番地に住む玉城美江子さん（現在知念高等学校三年生）が論文一位に「科学技術から学びたいこと」と題して晴れの栄冠を勝ちとった。

「青少年科学の日」

科学技術から学びたいこと

論文 1 位

玉城 美江子

科学技術の時代といわれている現代、車の運転免許を得るために自動車練習所に通い続けている人がいるとします。でも通い続けているうちに車の運転が容易でないということを知り「よし」ということで、両手だけで済み、さらに燃料も野草だけで済み経済的だと言って馬の運転に替えたとします。しかしその人は馬をつねってビヒーンと鳴らすわけにはいかないと思い、早急に元通り自動車練習所に通い続けることとして

この場合、その人の行動は観念的にも熱機関つまり科学技術の必要性を示し要求しているようなものです。

しかし、このように私たちが必要とし要求する科学技術の発達にもその発端をなす一つの大変革が起こったのです。

十八世紀半ばごろからイギリスに紡績業を中心に機械の発明が相次ぎやがて大量生産の必要性から交通機関にも大変革が起こり、社会のしくみが一変するようになったのです。

十三世紀にロジャー・ベーコンにより科学研究の近代的方法が明らかにされ、十七世紀の末にはニュートンらにより近代科学の基礎固めがなされ、十八世紀初期には熱力学が発達、エジソン（一八四七—一九三）による電灯の発明、製鉄法、蒸気機関などの発明があり、今日に至るまで、科学技術の発達は目ざましく、私たちの実生活に貢献をなすようになったのです。

ことは、はるかメキシコにおいてオリンピックが開催されますが、通信衛星は即座に競技もようを東京オリンピックのごとく、私たちのテレビに映してくれ、世界平和の一端

を見、界の人々の心に安らぎとまなざしを与えてくれることでしよう。

月、月、月。月世界飛行は世界中の人々の注目の的であります。米國などでは、人間の月飛行に必要な超大型ロケットや宇宙船も完成し、月飛行の基礎固めはほとんどでき上っているようですし、ここ一、二年のうちに実現可能のようです。

ところが、アポロ宇宙船を打ちあげるサターン・ロケットは長さ百三十三、高さ約三、七メートルで内部に八、五立方メートルの容積をもち、重さは約四千五百トン。それでも定員はたった三人で内部はかなり窮屈のようですし、それからするとまだまだ宇宙開発のページを開いたにすぎないようなものです。

しかし、たった三人の定員とはいえ、莫大な金をかけて宇宙船を造り出し、失敗に失敗を再三重ねながらなおも研究を続ける。いかに人間が科学技術が必要としているか、うかがえるような気がします。

中学の頃、私は太陽やそれを取りまく惑星についてこのように考えたことがあります。

子を産み愛情と経験などによってその子を育てる母親が太陽に値し、母親の愛情によって力強く伸びていくとする子達がかすかに光る星であり、子供は母親の純真な愛情によって独立し邁進できるのだと。

でも、かすかにかがやいている星の一つ一つが太陽と同じように巨大な天体であろうというニュートンの説を知りつつある現在、宇宙が何千何億万という人間の知恵が考えている以上に壮大だということを感じ得ずにはおられません。

研究に研究を積んでも解決の余地がない宇宙、そして自然。考えても考えてもなお望みを満たしてくれない宇宙そして自然。それを認知しつつ研究に余念のない偉大な科学者たち。そこに「科学探求」の必要性が見出され人間の生活に考える力を見出され人間の生活に考える力を与えてくれるのであり、そして「一歩前進しよう」という欲望こそ私たちが飛躍しようとする先がけをなすものであると思います。



「青少年科学の日」に参加した生徒および同行の星後援者により2月13日沖縄配電ホールで行なわれた星食会で屋田基助電力公社総裁から賞状をうける玉城美江子さん

「私たちは『熱力学』……」
 のようなあらゆる法則によって科学的思考を養えない、『考える力』を常に保持していきたいものです。

「真紅の太陽が水平線のかたに没して行く夕焼け時、壮麗な自然を眺めてみよう。ほら、いい気持ちでしょう。人間の幸はね、考える力が存在していることだよ。宇宙や自然に対する疑問、人生について社会について悩み苦しみ、考える力があることだよ。」

野を越え、山を越え、深谷をものともせずいつ果つとも知れぬ地平線、水平線に決して怒ることなく着々と力強い一歩一歩を踏みしめていくこうとする態度こそ、『科学探求』への心構えであり、私たち若者への大きな課題だと思います。

(知念高等学校三年)

「今日の琉球」

教育

新旧教員の紹介

西原区教育委員会(大城純勝委員長)は、四月六日管内小中学校始業式終了後、午後三時から村会議室で新任教員に辞令を交付した、新任教員は次のとおりである。(敬称略)

西原中学校に

宮里 盛正
 島 庄 久
 浦崎 永恒
 西平 秀博
 宮城 ミサ子
 波照間 明昌
 城間 眞智子
 大城

西原小学校に

伊佐 常喜
 比嘉 ユキ子
 城間 田美子
 又吉 幸子
 石原 クニ子
 坂田小学校に
 大城 京子
 仲宗根 信子
 友寄 シゲ子
 内間 芳子

転出の教員

(一)内は転出先学校

西原中学校から

仲村 弘(嘉手納中)
 崎間 朝男(北谷中)
 石川 信一(嘉数中)
 上原 健次(中城小)
 田場 哲男(嘉数小)
 山里 正子(中城小)

西原小学校から

宮城 豊子(嘉数小)
 大城 京子(坂田小)

坂田小学校から

大城 春子(中城小)
 与那城 操子(津覇小)
 仲宗根 啓子(コザ小)
 知花 郁子(石川小)

落成

西原郵便局新局舎落成

琉球政府郵政庁、西原郵便局(大浜寛良局長)では、長い間懸案であった新局舎が西原村字小橋川一五四番地の一に新築され四月二十二日に落成、現西原村役所新局舎(建築中)の前方右側に位置し、建築坪数は四五坪でスマートなコンクリート建である。建物は近代設備を充実し、総工費一万七千百ドルで「山善組」の請負により施行された。これを契機に郵政業務にも効率化され、村民へのサービスも今後益々向上するものと期待されている。

暮らしのメモ

1. 台所衛生に注意を

これからいよいよ梅雨どきでいけばん心を用いなければならぬのは食品衛生です。なんといっても温度は高く、細菌やかびの繁殖しやすい時期であるので、次のことに心がけましょう。

一、台所の戸などは清潔に整頓して風を入れ、油虫の出やすい流しの下、裏側、床下などは殺虫剤を散布しておくこと。

二、調理器具は常に清潔にすること。まないた、ざる、しゃもじなどは、そのつど熱気消毒をしておくこと。

三、ふきんは二組用意して、一組は必ず一度日光に当ててかわかします。交互に使うようにすればいちばん清潔です。

四、毎日の料理は残り物のないようにし、煮ものはもう一度火を入れてからいただきます。

2.

勉強しやすいふんい気を

「勉強がでさなくて困る」とか、「もつと勉強しなさい」と子どもに言う前に、ちよつと考えてみましょう。あなたの家に、勉強しやすいふんい気があるでしょうか。へや数はあっても、落ちついた勉強べやのない家庭が、案外多いのではないのでしょうか。広々とした解放的なへやだつたと美しい模様のカーテンでへやを区切り、勉強室を造つてはいか、でしょうか。勉強している場合は、テレビの音を小さくするとか、暖かいお茶をいれてやるとかいろいろな面で気を配ってほしいものです。

当月の人口移動

出生 23 死亡 7

転入 46 転出 45

婚姻 10 離婚 1

